

議 会 だ よ り

No. 152

発行 浦安市議会
編集 うらやす議会だより編集委員会
〒279-8501 千葉県浦安市猫実一丁目1番1号 ☎047-351-1111 内線1804
URL <http://www.kaigiroku.net/general/urayasusi/index.html>



平成27年消防出初式に臨む女性消防団

第4回 定例会

国民健康保険税条例の一部を 改正する条例など27議案を可決

震災資料アーカイブ化や新浦安駅前文化施設整備事業費を含む平成26年度一般会計補正予算などを可決

平成26年第4回定例会は、11月28日より12月18日まで開催されました。この定例会では、市長から提出のあった補正予算7件、条例の制定2件、条例の一部改正8件、条例の廃止1件、契約の締結1件、契約の変更5件、その他3件が審議され、27議案を可決しました。また、第3回定例会から継続審査となっていた、平成25年度各会計歳入歳出決算が認定されました。

市議会をインターネットで放映中

市議会の本会議の様子をインターネットでご覧いただけます。本会議開催中は生中継で、また、平成18年第1回定例会からの本会議の様子は録画でご覧いただけます。
市議会ホームページ <http://www.kaigiroku.net/general/urayasusi/index.html>
インターネット以外では、市内のケーブルテレビ「ジェイコム千葉」で、本会議における「提案理由の説明及び会派代表総括質疑(第1回定例会は会派代表質問)」の様子を、会議開催の3日後の18時と4日後の13時に放映しています。

議決内容

補正予算

- ◎ 専決処分の承認を求めることについて(一般会計補正予算(第3号))【全員賛成・可決】
衆議院議員総選挙の執行に伴い、歳入歳出それぞれ4280万円を追加し、予算の総額を763億2858万円とする専決処分をしたので報告し、承認を求めた。
- ◎ 一般会計補正予算(第4号)【賛成多数・可決】
歳入歳出それぞれ6732万円を追加し、予算の総額を763億9590万円とした。
- ◎ 国民健康保険特別会計補正予算(第2号)【全員賛成・可決】
歳入歳出それぞれ1億8344万円を追加し、予算の総額を132億1419万円とした。
- ◎ 公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)【全員賛成・可決】
歳入歳出それぞれ5億9835万円を追加し、予算の総額を80億6384万円とした。
- ◎ 墓地公園事業特別会計補正予算(第2号)【全員賛成・可決】
歳入歳出それぞれ1861万円を追加し、予算の総額を5億2744万円とした。
- ◎ 介護保険特別会計補正予算(第3号)【全員賛成・可決】
保険事業勘定の歳入歳出それぞれ1億599万円を追加し、予算の総額を58億6887万円とした。
- ◎ 介護サービス事業勘定の歳入歳出それぞれ492万円を追加し、予算の総額を12億3713万円とした。
- ◎ 後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)【全員賛成・可決】
歳入歳出それぞれ90万円を追加し、予算の総額を10億1211万円とした。

条例の制定

◎ 指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について【全員賛成・可決】
地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律により、介護保険法が改正されたことに伴い、指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定めるため、制定した。

条例の一部改正

- ◎ 地域包括支援センターの設置者が包括的支援事業を実施するために遵守すべき基準を定める条例の制定について【全員賛成・可決】
地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の制定により、介護保険法が改正されたことに伴い、地域包括支援センターの設置者が包括的支援事業を実施するために遵守すべき基準を定めるため、制定した。
- ◎ 市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について【賛成多数・可決】
議長、副議長及び議員の期末手当の額を改定するため、改正を行った。
- ◎ 特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について【賛成多数・可決】
市長及び副市長の期末手当の額を改定するため、改正を行った。
- ◎ 教育委員会教育長の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定について【賛成多数・可決】
教育長の期末手当の額を改定するため、改正を行った。

日程表

月日	曜日	日程
11月28日	金	開会、会期の決定、提案理由の説明、平成25年度決算採決
12月5日	金	会派代表総括質疑、議案各委員会付託
8日	月	総務常任委員会
9日	火	教育民生常任委員会
10日	水	都市経済常任委員会
15日	月	選挙管理委員及び補充員の選挙、一般質問
16日	火	一般質問
17日	水	一般質問
18日	木	委員長報告に対する質疑・討論・採決、議決採決、閉会

◎ 一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について【全員賛成・可決】
国及び千葉県の給与改定に準じ、一般職職員の給料月額及び勤労手当の額を改定するため、所要の改正を行った。
※次ページに続く

市議会を傍聴しましょう
平成27年第1回定例会は2月20日(金)から開かれる予定です。会期や審議日程は2月18日(水)の議会運営委員会にて決定され、公民館等やホームページにも掲示されます。
本会議を傍聴される方は、傍聴人控室で会議当日に受付をいたします。
なお、各常任委員会等は、委員長の許可を得て傍聴することができます。
車椅子での傍聴もできますので、議会事務局までご連絡ください。

介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律により、介護保険法が改正されたことに伴い、指定介護予防支援事業者の指定を受けることができる者を定めるため、改正を行った。

国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

国民健康保険の被保険者に係る所得割額の税率及び被保険者均等割額を引き上げるとともに、国民健康保険税の減額の基準を改定するため、改正を行った。

市立幼稚園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

市立幼稚園のうち一部の幼稚園を認定こども園とするともに、子ども・子育て支援法の施行に伴い、園児の保護者が負担する費用について定めるため、所要の改正を行った。

市立保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

市立猫実保育園の定員を改め、子ども・子育て支援法及び就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律により児童福祉法が改正されたことに伴い、入所の資格を改め、乳幼児の保護者が負担する費用について定めるとともに、その他所要の改正を行った。

保育の実施に関する条例を廃止する条例の制定について

子ども・子育て支援法及び就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律により、児童福祉法が改正されたことにより、保育の実施に関し必要な事項に係る規定を廃止するため、制定した。

市道幹線5号道路災害復旧工事(23災道第2335号)の請負について

市道幹線5号道路災害復旧工事(23災道第2335号)の請負契約を、加賀田・榎原特定建設工事共同企業体と5億112万円で締結した。

下水道災害復旧工事(A12)の請負について

下水道災害復旧工事(A12)の請負金額を21億6343万5000円から24億2738万1600円に変更した。

下水道災害復旧工事(B12)の請負について

下水道災害復旧工事(B12)の請負金額を28億3078万8千円から30億8723万4千円に変更した。

契約の締結

市道幹線5号道路災害復旧工事(23災道第2335号)の請負について「賛成多数・可決」

契約の変更

下水道災害復旧工事(A12)の請負について「賛成多数・可決」

報告

専決処分の報告について(訴えの提起(14件))

発議

消費税10%への増税は中止するよう求める意見書の提出について「賛成少数・否決」

その他

指定管理者の指定について(運動公園陸上競技場建築工事)の請負について「賛成多数・可決」

指定管理者の指定について

青少年館の指定管理者を公益財団法人浦安市施設利用振興公社に指定した。

指定管理者の指定について

運動公園陸上競技場の指定管理者を公益財団法人浦安市施設利用振興公社に指定した。

指定管理者の指定について

運動公園陸上競技場の指定管理者を公益財団法人浦安市施設利用振興公社に指定した。

報告

専決処分の報告について(訴えの提起(14件))

発議

消費税10%への増税は中止するよう求める意見書の提出について「賛成少数・否決」

その他

指定管理者の指定について(運動公園陸上競技場建築工事)の請負について「賛成多数・可決」

一般質問

第4回定例会では、12月15・16・17日の3日間にわたり15名の議員より、市政全般に対して活発な論議が展開されました。ここでは、質問者順にその一部を掲載いたします。

障がい者施策について

末益 隆志(きらり浦安) 就労支援について、優先調達推進法の考え方、浦安市の方向性について伺います。

市長 障がい者優先調達推進法は、障がい者の経済面の自立の促進を目的に、国や地方公共団体などが物品やサービスを調達する際、障がい者就労施設等から優先的に購入することを推進するために制定されたものです。

本市では、平成25年に浦安市障がい者就労施設等からの物品等調達推進方針を策定し、目標とした調達金額の達成に向けて全庁的に物品等の調達を積極的に行っています。また、方針では、障がい者の賃金水準向上のための総合的な就労支援として、物品販売の場の確保等についても定めています。

障害福祉において、就労支援は大変重要な施策であると考えており、これまでも就労支援センターを中心に、複合的な就労支援施設ワークステーションの機能を生かした支援を行うとともに、市役所にもワークステーションを設置し、障がい者を非常勤職員として雇用するなど先進的に取り組んできたところであります。今後多様な就労形態を提供し、雇用の一層の拡大を図り、多くの障がい者が納税者となれるような地域づくりを目指していきたいと考えています。

「家族の絆」支援について

宮坂 奈緒(きらり浦安) ひとり暮らしの高齢者や高齢のご夫婦だけの世帯、認知症高齢者の方が孤立することなく必要な支援を受けながら安心して暮らせるように、地域において声かけや見守りなどの支え合い活動を実施することももちろん重要ですが、その中でも一番には家族のきずな、身近な家庭での助け合いが大切であると考えます。

高齢者の孤立防止と家族のきずな再生を目的として、二世帯・三世帯家族の同居などに必要な費用の一部を助成及び軽減を行っている自治体も既にありますが、本市の状況はいかがでしょうか。

健康福祉部長 高齢者の孤立防止と家族のきずな再生を目的として、親と子と孫が3世代で同居または近隣に居住するための住宅の取得や転居等の費用に助成を行う3世代同居等への支援について、県内では千葉市が実施していると考えています。

本市ではこうした事業は行っていませんが、核家族化の進展による世帯規模の縮小や地域における人間関係の希薄化などによって起る高齢者の孤立防止対策として、高齢者あんしんマンションライフ事業を行っており、さらに来年1月からは、高齢者見守りネットワーク事業の開始を予定しています。

多くの市民の皆さんが自転車利用のルールを守り、マナー向上を意識して秩序が保たれている中、少数であれば、そういったルール無視の傍若無人な利用者がいることにより、歩行者や他の利用者の安全が脅かされ、もらい事故につながる危険性というものが常に存在することを認識しなくてはなりません。

そこで、市民の自転車マナーの現状についての市の認識を伺います。

都市整備部長 市民の自転車のルールについては、市民からの声としては「歩道内で自転車利用者が衝突されそうになった」あるいは「車道の逆走が危険だ」などのご意見をいただいています。

昨今では、自転車のルール、マナーについては社会的な問題として新聞やテレビなど大きく取り上げており、市としても街頭キャンペーン、あるいは自転車交通安全教室などの周知活動の強化を行ってきたところです。市民の自転車のルール・マナー意識は高まっているものと考えています。

しかしながら、いまだ交通ルールを守らない方も見受けられることから、今後も継続的な周知活動が必要と認識をしています。

市の教育施策について

中村 理香子(公明 党) いじめ防止は学校、教育委員会だけでなく、市、家庭、地域で、それぞれの立場でさまざまな取り組みが必要とされています。さ

らに、いじめの防止だけではなく、早期発見、対処、見守りに至るまでには多くの目と助けが必要です。そこで、いじめ防止に関する条例の制定について考えを伺います。

教育長 本市では、全ての小中学校で、いじめ防止対策推進法及び千葉県いじめ防止対策推進条例に基づいた取り組みや早期発見など、適切な対応を図り、いじめのない学校づくりに努めています。各学校では昨年度中に策定した学校いじめ防止基本方針を今年度、改めて見直し、家庭や地域とも連携して取り組めるよう、その方針をホームページ等によって情報共有しているところです。

また、各学校の具体的な取り組みの中には、浦安中学校生徒会によるイェローリボンキャンペーンや入船中学校生徒会によるSOSノートの作成など、いじめゼロに向けた生徒主体の活動があります。

誰もが住み続けたい街づくりの実現に向けて

宝 新(みらい) 多くの市民の皆さんが自転車利用のルールを守り、マナー向上を意識して秩序が保たれている中、少数であれば、そういったルール無視の傍若無人な利用者がいることにより、歩行者や他の利用者の安全が脅かされ、もらい事故につながる危険性というものが常に存在することを認識しなくてはなりません。

そこで、市民の自転車マナーの現状についての市の認識を伺います。

このことから、現在、教育委員会では、重大事態が発生した際に実効的な対処を行うための第三者機関の設置が重要であると考え、教育委員会における附属機関の設置に向けて、平成27年第一回定例会に上程する予定で条例の策定作業を進めています。

今後の財政課題について

秋葉 要(公明 党) かの上杉鷹山が政策の中で最も重要視したものは、藩会計の公開であったと言われております。藩全体の総収支勘定書を一般にわかりやすく明らかにすることで、入りを量って出するを制する政策を身をもって体現し、こうしたことを通じて藩をうまくおさめ、財政運営をコントロールしたとも言われています。

このような認識のもとで、今回の中・長期財政見通しについてお尋ねしますが、今年10月に示された中・長期財政収支見通しは、なぜこの時期の策定と公表に至ったのか、これまでの検討経緯と併せて、どのようにして実際の見通しを立てたのか、この検討内容の概要を伺います。

財務部長 中・長期財政見通しについては、これまで、年々の変動要因を踏まえて毎年試算を行ってきたところです。今回は平成26年度当初予算に加え、平成25年度決算も踏まえながら試算を行い、この10月に作成したものです。また、推計内容ですと、過去10年程度の決算の推移をもとに、将来人口の推移やGDPの伸びを踏まえて、現在、策定過程にある実施計画事業を加味し、また、財政調整基金の活用も見込み、策定したものです。

まちづくりについて

元木 美奈子(日本共産党) 新浦安駅西口改札口は平成14年12月7日からオープンしていますが、本市のまちの発展とともに乗降客が増大し、この改

善なことを実現したいと考えています。

多くの市民の皆さんが自転車利用のルールを守り、マナー向上を意識して秩序が保たれている中、少数であれば、そういったルール無視の傍若無人な利用者がいることにより、歩行者や他の利用者の安全が脅かされ、もらい事故につながる危険性というものが常に存在することを認識しなくてはなりません。

そこで、市民の自転車マナーの現状についての市の認識を伺います。

都市整備部長 市民の自転車のルールについては、市民からの声としては「歩道内で自転車利用者が衝突されそうになった」あるいは「車道の逆走が危険だ」などのご意見をいただいています。

昨今では、自転車のルール、マナーについては社会的な問題として新聞やテレビなど大きく取り上げており、市としても街頭キャンペーン、あるいは自転車交通安全教室などの周知活動の強化を行ってきたところです。市民の自転車のルール・マナー意識は高まっているものと考えています。

しかしながら、いまだ交通ルールを守らない方も見受けられることから、今後も継続的な周知活動が必要と認識をしています。

市の教育施策について

中村 理香子(公明 党) いじめ防止は学校、教育委員会だけでなく、市、家庭、地域で、それぞれの立場でさまざまな取り組みが必要とされています。さ

らに、いじめの防止だけではなく、早期発見、対処、見守りに至るまでには多くの目と助けが必要です。そこで、いじめ防止に関する条例の制定について考えを伺います。

教育長 本市では、全ての小中学校で、いじめ防止対策推進法及び千葉県いじめ防止対策推進条例に基づいた取り組みや早期発見など、適切な対応を図り、いじめのない学校づくりに努めています。各学校では昨年度中に策定した学校いじめ防止基本方針を今年度、改めて見直し、家庭や地域とも連携して取り組めるよう、その方針をホームページ等によって情報共有しているところです。

また、各学校の具体的な取り組みの中には、浦安中学校生徒会によるイェローリボンキャンペーンや入船中学校生徒会によるSOSノートの作成など、いじめゼロに向けた生徒主体の活動があります。

札口をさらに利用しやすくすること
とが求められているものと思っ
ています。

そこで、新浦安駅の乗降客の現
状と、この間の推移を伺います。
答 都市整備部長 新浦安駅の
東口、あるいはアトシ口改札
それぞれの利用状況については、
JR東日本千葉支社に確認して
います。

駅利用者数の公表は駅単位のみ
しているということですので、改
札口ごとの利用者数は公表できな
いと伺っています。

なお、JR東日本が公表してい
ます新浦安駅1日当たりの乗客数
を申し上げますと、平成23年度が
5万3655人、平成24年度が5
万4516人、平成25年度になり
ますけれども、5万5165人と
微増で推移しています。

なお、東口には8力所、アトシ
口には3力所の自動改札が設けら
れています。

復旧工事現場の安全対策について

岡野 純子(無会派)

問 市から工事業者に対して、
安全指導をどのように行ってい
るのか、市の統一的な基準とい
うのがあると思いますので、その
内容についてまずは確認します。

答 都市整備部復旧・復興担当
部長 市としては、国が定め
た建設工事公衆災害防止対策要綱
に基づき、請負業者から提出され
る安全対策を含めた施工計画書を
精査し、交通誘導員や保安施設等
を適正に配置するなど、安全対策
について指導しているというです。

また、現在、各地区で道路の災
害復旧工事が行われていることか
ら、市と請負業者により連絡協議
会を立ち上げ、定期的に業者間の
工程調整、情報交換及び工事現場
の安全パトロールを行うなど安全
対策に努めているところです。

また、道路の工事における安全
対策の基準については、市で統一
した基準はありませんが、先ほど
も説明しました、国が定めた建設

工事公衆災害防止対策要綱の基準
に基づいて、工事の作業時間に合
わせて、工事の作業帯への歩行者
や車両等の進入防止並びに通行車
両が円滑に走行するため、浦安警
察署と具体的な協議を行ってから
工事現場に交通誘導員や保安施設
などを配置しているところです。

子育て施策について

美勢 麻里(日本共産党)

問 子ども医療費助成につい
て、現在、浦安市では中学校
3年生まで現物支給です。窓口で
は200円を払い、医療機関、そ
して薬局などで薬を買う状態にな
っています。浦安市では今、子育
てについてきめの細かいフォロー
をしていくということで大きく構
えを示していますが、子どもの医
療費の助成についても高校卒業ま
でぜひ拡大していただきたいとい
う思いで取り上げます。

浦安市の子ども医療費利用の状
況と市の評価を伺います。また、
高校卒業までの助成をしている県
内の状況についてお示ください。

答 子育て部長 小学校4年生
から中学校3年生までの医療費
の助成については、平成24年度の
途中、12月になりますけれども、
償還払いから現物給付に変わった
ことで正確な年度対比というのは
できませんが、平成24年度と平成
25年度の医療費の総額を比較しま
すと、利用は増加している状況で
す。

なお、高校3年生までの子ども
の医療費の助成を拡大している県
内の自治体は、今年の12月1日時
点で香取市、山武市、いすみ市
そして一宮町の3市1町で、これ
は全て償還払いの助成を行ってい
るというところです。

市民との約束について

広瀬 明子(無会派)

問 10月に行われました市長選
挙時に松崎市長は、現市長政
策公約集「市民とのPROMISE
E2014」を市内に配布されま

した。そこでは「政策は政治家の
命」と言っています。この公約集
12ページ、「8.障がい者福祉」
の見出しの「福祉ゾーンのリニ
ューアルを」と書かれた中で、「東
野地区の障がい者福祉センターを
建替え」と書かれています。

この施設は私が市議になってか
ら完成したはずですので、何でも
う建て替えるのかとヒアリング時
に通告しましたら、この言葉は誤
植とのことでした。政治家の命と
言っていることで誤植があったわ
けですが、その経緯の説明と、誤
って記載したものを市内に何万戸
分配布されたのか、修正、訂正は
どのように行ったのか伺います。

答 市長 経緯を云々というお
話でしたけれども、初期の政
策公約集に記載していましたが東野
地区の障がい者福祉センター建て
替え、これ自身は記載ミスで、総
合福祉センターと記するところを
誤って記載したものです。

なお、間違い、誤りに気づいた
段階です修正をするのと同時に、
刷り直しということ、何部配布
されたかについては、把握をして
おりません。

中長期財政収支の見通しについて

岡本 善徳(復興浦安)

問 中長期財政見通しの試算の
根拠について、過去10年間の
決算推移や人口やGDPの推移、
相関関係をもとに将来人口やGDP
の推移を踏まえて推計したと説
明がなされていますが、もう少し
詳しい説明を求めます。

答 財務部長 この中長期の財
政収支見通しについては、お
おむね過去10年程度の決算状況
をもとに歳入歳出とも経常的な部
分と実施計画等の事業に区分して
試算をしています。また、市税の
中で地方法人税の創設による影響
額を挙げていますが、これは本年
の第2回市議会にて可決されてい
ます財政力格差の縮小を図るため
見込んであるところと見込んで

この経常的な部分については、基
本的には過去の決算額の推移と、
その間の人口の関係、あるいは美
質経済成長率の推移とのまに相
関関係をもとに、今後の人口、実
質経済成長率などの予測値を用い
て、エクセルなどで、回帰分析等々
をしているところです。

また、実施計画等の事業では、
第2期の基本計画、期間内の事業
をはじめ復旧・復興に係る事業な
どを見込むとともに、これらに伴
う歳入も見込んで試算をしている
ところです。

旧堤防について

西川 嘉純(みらい)

問 今川の住民の方から、復旧・
復興工事の工事車両の駐車場
及び仮置き場として暫定的に利用
されている箇所の工事後の扱いに
ついてお問合わせいただき、今回
の質問となりました。旧堤防の存
在による課題と改善、旧堤防があ
ることによる弊害と、その改善策
について、これまでどのように対
応してきたのか伺います。

答 都市整備部長 第二湾岸道
路予定地、都市計画道路3・
1・7号線、この予定地沿いの旧
堤防については、第2期埋立て事
業が完了し、既に海岸保全施設と
しての機能は持っていません。

この堤防に関しては、中町地域
と新町地域とを分断しているため
切り開いて道路を設けてほしいと
の声、また一方では、車両の騒音
や海風対策として残してほしいと
の声が寄せられています。こうし
た中、地元今川自治会より道路の
設置要望が出されたことから、旧
堤防の管理者である千葉県と協議
し、車両騒音や海風対策としての
機能に配慮しつつ、今川地区に通
路を2力所設置してきたところで
す。

切り開いて通路にしてほしい、
あるいは車両騒音や海風対策とし
て残してほしいといった声が寄せ
られていることから、今後、この
堤防をどのように扱うかが課題と
なっています。

協働のまちづくりについて

芦田 由江(きりり浦安)

問 今、国の政策で介護保険が
在宅に大きくかじを切り、障
がい者や生活困窮者の自立支援が
叫ばれています。こうした中、こ
うした問題には行政の力だけでは
立ち向かえません。今こそ市民団
体との協働が重要になってきてい
ます。そして、その手法や取組み、
普及させていく方法について考え
なければならぬと思っています。

まさにこれから協働の正念
場と捉えています。

協働の相手は市民個人ではあり
ません。市民活動団体や地域団体
などの団体です。この協働の相手
である市民活動団体を育成し、支
援することについての市の考えを
伺います。

答 市長公室長 市民と行政が
協働するまちづくりを推進し
ていくためには、市民が主体的に
地域の課題解決に取り組む市民活
動が活性化していくことが必要と
考えています。そのためには、市
民活動への市民の参加を促進し、
市民活動団体の継続・発展につな
げられるよう、市民活動に関する
情報の発信、団体相互の連携、団
体の学びの場の充実、財政面での
支援など、団体の育成・支援を進
めていくことが重要であると考え
ています。

各種事業(施策)について

水野 実(復興浦安)

問 排水基本計画について、60
ミリ対応から100〜120
ミリに対応を変えて何とかが前に進
めたいとの意気込みで選挙を戦っ
ていらしたところがありま
すが、今現在、進捗がまだゼロパ
ーセントです。今後の進め方、相
当額が必要となるあたり、ご所見
を伺います。

答 市長 本市の雨水排水施設
を目標に整備してきたところだ
が、近年ではこれを超える雨量も
頻発しているところから、平成18
年度に排水基本計画を策定し、時
間雨量60ミリを目標とした事業計
画案を策定しました。しかし、排
水設備を整備するには多額な事業
費が必要となることから、今後の
財源も含め整備手法など慎重に検
討し、事業化に向けて取り組んで
いく必要があると考えています。

近年では、台風やゲリラ豪雨に
伴い冠水対策を再点検する必要が
あるものと考え、現況の雨水排水
施設や雨水貯留施設の設置等ど
の程度対応できるのかを検証する
とともに、効率的、効果的な対策
ができるのか、そういった意味で
は、私の政策公約集にも、異常気
象の中、1時間100ミリや120
ミリの驚異的雨量が記録されて
いるといった想定外をなくすため
に、冠水対策の再点検をすると思
っています。あくまで再点検を
スタートするというところです。

少子化対策について

柳 毅一郎(無会派)

問 国立社会保障・人口問題研
究所によると、ご存じのと
おり、平均初婚年齢や生涯未婚率の
推移は右肩上がりになっていま
す。やはりこれはなかなか難しい
問題ですが、もうひとり産みたい
とか、あとは、結婚してからやは
り子どもをいただくということ
です。このことについて、まず中
長期計画と呼ばれるものについて
伺います。

件名のところで基本計画・実施
計画と書いてありますが、まず中
長期計画と呼ばれるものについて
伺います。

答 市長公室長 中長期的な計
画と言われますのは、一般的
には基本構想、基本計画、実施計
画、こういったものを指すのかな
と考えています。

基本計画・実施計画について

長谷川 清司(無会派)

問 浦安市の中長期計画につ
いてですが、行政の最大の業務
は、予算を作成する、執行する、
決算によって評価することだと思
います。

こうした一連の業務のスタート
となる予算編成は、当然やみくも
につくるのではなく、この町を
どのような町にしていきたいかとい
う中長期的なビジョンや計画があ
り、それに基づいて作成されるも
のだと思います。

中長期の長さをどれぐらいにす
るかという点ではいろいろな考え
方があるとは思われますが、浦安
市の中長期計画と呼ばれるもの
について、どのようなものになるか
を伺います。

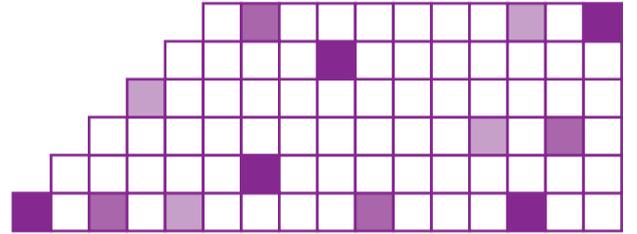
答 市長公室長 中長期的な計
画と言われますのは、一般的
には基本構想、基本計画、実施計
画、こういったものを指すのかな
と考えています。



会派代表 総括質疑

第4回定例会では、12月5日の本会議において、3人の議員がそれぞれの会派を代表して質疑を行いました。

ここでは、紙面の関係で主な質疑及びその答弁の要旨について掲載いたします。



公明党

議案第1号 文化会館整備
改修事業について、東日本大震災を受け、天井脱落防止のための点検及び対策を強化するための建築基準法施行令の一部が改正されたことに伴う設計予算の追加との説明がありました。そこで、当初予定していた文化会館設備改修事業から1396万4千円補正を行い、5856万円繰越明許にしていきますが、その経緯と今後のスケジュールについて伺います。

文化会館設備改修事業については、平成26年度当初予算において設計経費を計上し、設計業務を順次進めてきたところで、その中で、構造劣化調査及び排水管等の調査を行った結果、一部構造補強と給排水管の改修が必要になったことから、設計の追加補正を行うものです。

また、平成26年度内には設計業務の完了が見込めないことから、繰越明許とするものです。今後のスケジュールとしては、平成27年8月ごろまでに実施設計業務を完了し、改修工事に伴う手続を行い、平成27年度末に準備工事を着手し、本工事は平成28年7月から翌

年3月までと予定しています。

議案第15号 子ども・子育て支援新制度では、質の高い幼児期の学校教育、保育を総合的に提供すること、地域のニーズに応じた多様な子育て支援を充実させること、待機児童解消のための保育の受入れ人数を増やすことを大きな柱として、各自治体における子育てをめぐる課題を解決することを目標としています。今回、預かり保育を行っている8園に3歳児の保育を行うこととし認定こども園とするわけですが、このことについては本市のどのような保育ニーズに対応すると考えているのか、市の考えを伺います。

現在策定中の仮称子ども・子育て支援事業計画では、昨年実施した基礎調査をもとに3歳から5歳児の教育・保育ニーズを推計しています。それによると、平成27年度は3歳から5歳までの児童数4480人のうち幼稚園を希望する児童は2365人で、率に直しますと約53%となっています。また、保育を希望する児童は2019人で約45%となっており、このことから教育・保育ともニーズはあると考えています。これらの結果を受け、本市では預かり

保育を実施している6園に3歳児保育実施園の2園を加えて8園を認定こども園に移行します。併せて3歳児保育の定員を50名増員し、ニーズに対応していきたいと考えています。

日本共産党



議案第1号 東日本大震災復興交付金基金について、今回の補正予算に1億8153万円の基金繰入れが提示されていますが、これまでの復興交付金の総額と復興交付金を活用した事業の実績、そして復興交付金年度末の残高をお答えください。

これまでに市に交付された復興交付金の総額は、6事業で60億576万円で、執行した総額については43億7538万円となっています。また、復興交付金を活用した事業の実績としては、公共土木施設を中心に災害復旧工事に合わせた液状化対策を総合的に実施し、幹線道路の液状化対策については、新浦安駅と舞浜駅の駅前広場、幹線9号の工事が完了し、現在、幹線6号を施工しているところで、また、道路と宅地を一体的に対策する市街地液状化対策事業については、現在20地区、4103宅地を対象に地質調査などを進めているほか、幹線6号と9号下に埋設されている幹線下水道施設の耐震化や中学校6校の校庭の液状化対策などが完了しています。

これまでに交付された復興交付金基金の平成26年度末での基金残高については、今後、執行を予定している事業もあることから、約8億円を見込んでいます。

議案第14号 国民健康保険 条例の一部改正について、国民健康保険税の大幅な引上げ提案ですが、2年前、広域化を理由に所得割額を大幅に引き上げたばかりです。今回、またもや所得割

額を6.54%に、均等割額を9千円から1万3200円に引き上げるといふものです。そしてさらに、均等割額については、法定減免の軽減対象者に対する引上げも提案されているところですが、前回の引上げは約4億円にも上る多大な負担を市民に求めるものでした。わずか2年しか経過していないにもかかわらず、なぜこの時期にまたもや保険税を引き上げるのか、国の今後の方向性の詳細が定まっていないにもかかわらず引上げなのか伺います。

また、前回の引上げの際、諮問しました国民健康保険運営協議会の答申で附帯意見が付き、定期的、2年に1度程度見直しをするということが要望されており、今回の提案に至ったものです。

また、前回の引上げの際、諮問しました国民健康保険運営協議会の答申で附帯意見が付き、定期的、2年に1度程度見直しをするということが要望されており、今回の提案に至ったものです。



みらい

議案第1号 新浦安駅前文化施設整備事業(実施設計等)について、これまで各種団体からどのような意見があったか、また既存の施設のすみ分けについて伺います。

既存の文化会館については、規模が大きく、使用料も高いため、文化団体からは集客が難しく利用しづらいとの意見をいただいています。400席の小ホールは、規模や使用料の安さから市民が手軽に利用できるものの、音響の悪さを多くの団体から指摘されています。文化会館は駅からのアクセスが悪いとの意見も多数あります。市民プラザは駅に近く立地はよいものの、複合施設内のため音響に

議員出席表

平成26年の議員出席表がまとまりました。なお、表に記載してある会議の他に調査視察や研修会等が開催されています。また、議員の議会外の活動として各種団体の会合等にも参加しており、正副議長も各委員会等に随時出席していますが、この出席表には記載していません。(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

議席	議員名	本会議		総務		教民		都市		議運		全協		議会だより		合計	出席率 %	遅刻	早退
		出	欠	出	欠	出	欠	出	欠	出	欠	出	欠	出	欠				
1	元木美奈子	24				8								8		40	100.0	0	0
2	美勢麻里	24						9		9						42	100.0	0	0
3	広瀬明子	24		8						5						37	100.0	0	0
4	長谷川清司	23	1					9		9						41	97.6	0	0
5	水野実	24				8				3				6		41	100.0	0	0
6	折本ひとみ	18						6						6		30	100.0	0	0
7	辻田明	24		8						8	1					40	97.6	0	0
8	芦田由江	24		8										7	1	39	97.5	0	0
9	末益隆志	24				8				8	1					40	97.6	0	0
10	宮坂奈緒	23	1			8								8		39	97.5	0	0
11	秋葉要	24				8				9						41	100.0	0	0
12	中村理香子	24		8										8		40	100.0	1	0
13	田村耕作	12						4								16	100.0	0	0
14	岡野純子	18	6					8	1					3		29	80.6	0	0
15	醍醐誠一	24		8						9						41	100.0	0	0
16	岡本善徳	24						9		9				8		50	100.0	0	0
17	柳毅一郎	23	1	8										8		39	97.5	1	0
18	深作勇	24				8										32	100.0	0	0
19	西川嘉純	24		8						9						41	100.0	0	0
20	宝新	24						9						8		41	100.0	0	0
21	西山幸男	24				8										32	100.0	0	0
	合計	477	9	56	0	56	0	54	1	78	2	0	0	70	1	791	98.4	2	0

*所属する委員会等の関係で各議員の出席すべき日数に差があります。(表中、議運=議会運営委員会・全協=全員協議会・議会だより=議会だより編集委員会の略です。)

を計画したところです。議案第4号 墓地公園事業 特別会計補正予算の中、樹林地整備事業について、整備事業費追加補正の理由を伺います。今回の補正については、樹林地の建設工事費の増額をお願いするものです。近年、埋葬についての考え方が大きく変化するとともに、墓地ニーズについても多様化しており、その一つが樹林地です。亡くなった後、土など自然に還りたいという志向の高まりがあり、話題になっている都営小平霊園の樹林地を早速視察してきました。

審議会から答申があり、樹林地は経年によりその威容に趣が増し、また墓参者が四季を感じ墓前で故人をしのぶことができるような墓地が望ましいなどのご意見をいただいたところです。このことから、当初の防風壁の構造や素材に見直しを加えるとともに、防風効果を高めるためなどの変更及び追加等が生じたため、追加補正を行うものです。



各常任委員会の審査から

総務常任委員会

議案第1号 平成26年度浦安市一般会計補正予算(第4号)

問 人件費の職員給与費について、一般職で職員の増減が31人減っています。退職と引当の減年とかではなく、いろいろな理由があつてということでしょうか。

答 職員の人数の関係ですが、見込めなかった退職等による人数がこの31人といった結果です。定年退職については、基本的にはわかつている人数です。定年退職以外に普通退職、あるいは勧奨退職、こついったことで退職した方ということですね。

問 消防車両・資機材維持管理費が367万7千円上がっています。内訳を、具体的に伺います。

答 修繕案件を見込んでいた以外に修理案件が発生し、不足が生じたための補正です。内訳としては、はしご車の修理とか、あとポンプ車、救急車等々の合計で9台分の修理にかかった費用です。

問 歳入の固定資産税について、東京ベイ医療センターによる300万円の減免申請に基づき減免したという説明があつたと思

第4回定例会で、所管の委員会に付託された各議案は、12月8日総務常任委員会、9日教育民生常任委員会、10日都市経済常任委員会でそれぞれ審査されました。

ここでは紙面の関係で、委員会で行われた主な議案の質疑及びその答弁の要旨について掲載いたします。

ますが、例えば10年とか、5年とか、どのぐらいの形まで影響が出るかと考えているのか、伺います。

答 減免申請については、単年度ごとの申請になります。その都度判断して、減免申請の条例や要綱に基づいて該当するかどうかを判断しますので、今回の減免申請が及ぼす影響については今年度だけということになります。

議案第27号 平成26年度浦安市一般会計補正予算(第3号)
問 衆議院選挙執行費について、職員給与費が約1200万円計上されていますが、どういった内訳になっているのか伺います。

答 職員給与費については、1級から4級までの職員の時間外勤務の平均単価を算出して、それで必要な人数、必要な時間を掛けて算出しています。人数の目安としては、市の職員として563名、これは期日前投票、開票を合わせた人数で積算しています。その563名について、詳細な計算根拠を示してください。

問 職員の個々の時間外勤務単価でも計算していますので、個々に違いますが、市の職員の1

級から4級までの職員の平均の単価を算出し、勤務に必要な時間数と人数を掛けて算出しています。投票事務ですと、基本的に週休日、土曜・日曜の勤務については、8時間は振りかえで行っていますので、それ以外の部分について計算しています。期日前投票については、7時半から8時半までの勤務時間と夕方5時から9時までの勤務時間ということと計算しています。開票についても8時から25時で見込んで積算しています。

問 通信運搬費が436万8千円となっています。どのようなものかお示ください。

答 主なものは投票所の入場整理券の郵送料です。投票所入場整理券で369万2千円見込んでいます。その他不在者投票とか、あるいは国政選挙ですと、転出して4力月たつと選挙人名簿から抹消しますが、新しい住所地で3カ月たつと登録されますので、その時期によっては、転出元と転出先で二重に登録されている場合があります。そういう二重登録を防ぐために、転出先に登録したかどうか照会するといった事務が発生します。そういう転出先への照会、そのほか在外投票とかの郵送料といったもので436万8千円という金額になっています。



教育民生常任委員会

議案第1号 平成26年度浦安市一般会計補正予算(第4号)

問 新浦安駅前文化施設整備事業1億3599万8千円の予算の内訳についてお願いします。

答 設計予算の内訳ですが、音楽ホールと多機能ホールの設計業務が1億2548万5千円、コンサルティング業務が1043万3千円となっています。

問 音楽ホールについては、非常にランクに格差があり、いいものなのか、ほどほどのものなのかで、かかる経費は違ってくると思います。どの程度のものをご想定されているのか、お尋ねします。

答 基本的には、音楽専用ホールという形で整備をして進めていくところです。1・5秒から2秒の残響が人間に心地よい感覚を与えてくれるというところで、近隣の定評のあるホールでは、サントリーホールが2・1秒、東京芸術劇場が2・1秒、浦安市文化会館の大ホールが1・5秒という違いはありますが、残響時間を一つの目安として、整備していきたいと考えているところです。

議案第7号 浦安市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について
問 介護保険について、従来での基準は政省令の中に位置付けられていたものが条例化されるということで国からの命令的な制約がある、そういう性質のものを条例化したと思いますが、自治体の事務負担の増加をどのように考えているのか伺います。

答 現状でも、例えばケアプランの事業所に対する、要支援の部分の事業所の許可、こういうものは市で行っていますので、特に現時点で事務負担が増えるということはありません。

議案第15号 浦安市立幼稚園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
問 時間外保育について、標準時間は施設ごとに決められると思いますが、9時から17時というふうな施設が決めた場合、8時から預けたい場合には、いわゆる時間外保育になります。費用負担の問題にどのように応えようかと考えているのか伺います。

答 朝の幼稚園が教育時間以外部分のお子さんを預かる場合は、2号認定となりますので、その場合には保育短時間あるいは保育標準時間の認定になります。いずれにしても、保育標準時間・短時間、それぞれ料金体系が決まります。料金は所得に応じた保育料という形になりますので、今現在行っている預かり保育との料金等を参考にしながら、あまり影響のないような形で料金設定を考えていきたいと思っています。

都市経済常任委員会

議案第1号 平成26年度浦安市一般会計補正予算(第4号)

問 市街地液状化対策事業の追加について、おおまかに追加の内容を、説明願います。

答 復興交付金事業、市街地液状化対策事業の追加については、今年度に入つて、新たに6地区追加され、宅地数にすると1488宅地の地質調査並びに宅地現況調査を受けての詳細設計を行うための委託料になります。

問 そのほか公募型のプロポーザル方式なども入れていくのか伺います。

答 現在、設計について公募型プロポーザルを実施してはいますが、今回、20地区に関する地質調査並びに宅地現況調査、そして詳細設計、このうちの地質調査については、業者を選定して、現在事業を進めています。そして、詳細設計を行う上での業者選定に際して、現在公募型プロポーザルで実施しています。

議案第20号 指定管理者の指定について(浦安市運動公園陸上競技場の指定管理者)
問 PFIとかを導入している自治体ですと体育施設などもいわゆる民間でスポーツ生理学を中心としたところでやっている企業が、非常に質の高いサービスを提供しているということですが、非公募とした理由を確認します。

答 今回の非公募については、浦安市指定管理者運用指針の中に、まず隣接部分に既に指定管理者が導入されている場合は、合理的な考えから非公募で行つてよいという一節があり、それに基づいて非公募としました。

問 今回の追加分の2億3600万円余についての内訳として、6地区の状況についてお話しします。6地区の地質調査の合計として1億3200万円、宅地現況調査について1億1000万円、詳細設計について8800万円、合計3億2100万円となっています。先ほどの2億3600万円余とは金額がちよつと違います。これを説明しますと、もともと復興交付金を活用して6月補正予算に計上し事業を進めてます。その6月補正で得た金額は、当初16地区での事業計画策定ということと進めてはいたが、そのうちの2地区については、事業計画策定の、いわゆる地盤調査ですか、詳細設計、宅地現況調査に至りませんでした。その分の歳出予算は既に確保しており、その金額が概ね7900万円です。それと、これまで委託契約した地質調査の契

約差金が概ね540万円程度で、これらを差し引いた金額が2億3600万円余という状況です。

議案第3号 平成26年度浦安市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について
問 汚水ポンプ場維持管理費の追加の内容を伺います。

答 光熱水費の増額ですが、これについては電気料金です。原油の高騰によって、燃料費の調整単価が変動しており、昨年と今年度の上半期を比べると、倍ほどになっています。下半期を計算すれば、約34万円の不足金が生じるため、増額計上したものです。

問 公共下水道復旧管理事業費更正減の説明を伺います。

答 この更正減については、さまざまな支障物や地下水の変動によって、災害復旧のスケジューリングがおおまかに遅れてきています。事後調査を予定していましたが、スケジューリングの遅延から事後調査の件数が少なくなることを見込んで減額の対応をしています。

議案第4号 平成26年度浦安市墓地公園事業特別会計補正予算(第2号)
問 樹林墓地に関する整備事業、2千万円について、総括の中では防風などの対策と明言があつたかと思いますが、そのあたりの詳細を伺います。

答 本年5月に開催の浦安市墓地公園運営審議会の答申で防風対策等も充実させるようにということがあり、防風壁の構造について、まず防風対策では、3メートルから4メートルに高さを高くしています。また、その他として、樹林墓地周辺の植栽を防風林に変更するというようなことで防風対策を図っています。

問 将来的に大きくなる樹木を植えるという形で、育つまでは、防風フェンス、仮設のフェンスを設置して、防風対策を致します。



決算の審査

第3回定例会で各常任委員会に付託された平成25年度各会計歳入歳出決算認定の審査は、11月4・5日都市経済常任委員会、11月6・7日総務常任委員会、11月10日・11日教育民生常任委員会で行われ、収支の適法性、行政効果、予算の執行状況、さらには次年度予算への反映等を考慮して慎重に審査された結果、3委員会とも認定すべきものと決しました。

この結果は11月28日の本会議で各常任委員長より報告が行われ、採決の結果、賛成多数で認定されました。

ここでは、紙面の関係で主な質疑及びその答弁の要旨について掲載いたします。

総務常任委員会

(一般会計)

問 25年度5年目になり、成果や課題等が出てきているように思います。協働社会の実現というところの達成の成果を伺います。

答 5年間の成果としては全体で79講座を開催しています。延べ1436人の方に講座を受講いただき、うらやす市民大学から発生した団体やサークル、研究会等も活動しています。その中でも、協働提案事業に採択された団体が5団体、あるいは協働事業とは別に、教育委員会と協働事業協定を締結されて活動されている団体が1団体、市民活動補助金の交付を受けて活動している3団体など、直接地域活動の実践につながっているものと思っています。

(一般会計)

問 少年消防団の活動について伺います。

答 少年消防団の活動の頻度と訓練回数ですが、基本的に月1回、土曜日、または日曜日で実施しております。平成25年度の年間の訓練回数については、5年生6年生ともに入団式を含めまして、14回実施しています。

問 大規模な災害、災害発生に備えて、実践型の図上訓練を実施したとありますが、どのような形で行ったのか伺います。

答 平成26年3月の日曜日に午前、午後の2回に分けて、課長級職員を対象に約4時間の研修及び訓練を実施しました。訓練の内容は、災害対応の基礎知識の習得という講義の部分と、災害時の役割、行動の確認ということがグループワーク、さらに災害時の情報処理に関する理解ということことで、図上シミュレーション訓練の3構成で実施したものです。

教育民生常任委員会

(一般会計)

問 公民館事業の内容がどのような流れで決まっているのか、事業の内容や講師の選定理由について伺います。

答 まず、毎年、公民館の運営方針があり、その中で、例えば現代的課題とか障がい者の学習、あと幼児・青少年の発達課題に応じた学習、子育て期にある成人の学習、高齢者の学習、それぞれ分かれていますが、その都度、その運営方針に当てはめて案をつくります。その後、公民館運営審議会という流れになっています。

問 生活保護支給事業について、年々人数が増えているというところですが、本市の数字をどのようにとらえているのか伺います。

答 被保護世帯数、被保護者数の増加に伴い、保護率も上昇しているところですが、伸び率に関しては鈍化が見られます。しかし、保護受給世帯の構成割合としては、高齢者世帯が41・6%と最も多く、高齢者による要保護状態となる方は、高齢化の進展によって今後も増加が続くことが予想されます。

問 ワークステーション事業では、障がい者の方を雇用しているとのことですが、雇用の内容を伺います。

答 平成25年度から非常勤職員として雇用という形に拡充し、障がいのある方を非常勤職員として4名雇用しました。具体的な作業の内容は、転入者に市民課で配布する市民便帳のセット組みですとか、各課の書類印刷、紙折り、仕分け、封入、ラベル張りや、毎朝、市役所宛の郵便物を総務課の集配棚から庁舎内の各課に届けるといったような軽作業等を行っています。

問 総合体育館の工事に事業期間となっていました。どの程度の省エネルギー効果がありましたか。また、金額で、どの程度の削減になるのか伺います。

答 平成25年度ですと、省エネルギー率が15・1%、それとCO2削減率が11・6%となり、金額ですと、4800万円の削減となっています。

都市経済常任委員会

(一般会計)

問 公園維持管理費2億9千万円、これは前年度が2億3千万円ぐらいたったと思いますが、その内容を伺います。

答 増額の主な理由としては、委託料について、平成25年度については労務単価がかなり上昇しているということ、あと震災

後行っていないなかった運動公園の清掃業務等を再開したということと、光熱水費について、電気料が上がっています。

問 羽田空港騒音問題対策経費について、調査の結果で、夏季に、日の出、明海、高洲と新町地域、軒並み騒音レベルが上がっています。何か事情があるのか、分析はされているのか伺います。

答 羽田空港については、平成25年度末で44・7万回という、今の計画では最大の発着件数で、その状況からすると、やはり離発着便が増えたことによるものと考えています。

問 大気汚染常時測定経費について、PM2.5の測定を始める機械の導入をしていくとのことですが、平成25年度の成果報告書の中では11日間、環境基準値を超えている日があります。どういった条件下でこれは環境基準値を超えている日があり、どういった対応をされたのか、伺います。

答 夏季に6日間、冬季に4日間と大気汚染が日平均を超えています。環境基準値を超えた場合の対応については、特に市民への周知等は行ってなく、経過観察を行っています。

問 また、環境基準とは別に、千葉県では国が定めた暫定指針に基づいて、日平均値が1平方メートル当たり70マイクログラムを超える予想されるときには注意喚起を行います。この場合は、市のホームページでの周知に加え、防災無線等を活用して、市民へ注意喚起しています。

問 また、平成25年度では、11月4日に、他市の測定局でしたが、暫定指針値を超えるおそれがあったため、県からの注意喚起が発令されました。

平成25年度決算に対する討論

【反対】

資本金10億円以上の大企業のもうけは拡大し、1億円以上の資産を持つ富裕層も増え、貧困と格差は拡大する中、アベノミクスの円安による物価の高騰、公共料金の値上げなど国民の暮らしはますます厳しくなっています。松崎市長は、国の防波堤となり、最優先に浦安市民の命と暮らしを守らなければなりません。

【賛成】

平成25年度は、震災から3年目を迎えた年であり、浦安ブランドの再生と創生の反転攻勢となる重要な年でした。本格復興・復興元年と位置づけ、それまでの公園や小中学校などの施設を中心とした復興・復興から幹線道路や下水道など、さらには街区を対象にした面へと展開し、再び一人が輝き躍進するまち・浦安を目指して力強く邁進した年であったように思います。

【反対】

多くの市民の反対を押し切って、新浦安駅前にあったスワンカフェ&バーカリーへの貸与を打ち切り、観光コンベンション協会に渡しました。スワン運営事業者の撤退後、運営が開始されたのは半年近くたってからでした。いかに市の施策に計画性がないかがあらわになった出来事でした。

また、ダイエー主催の市民向け説明会では法律に適合しない図面を市民に配布し、それに関して意見を聞くという信じられない光景となったのです。資料は、事前に市と協議・調整を行ったものであることを議会答弁で認めています。何時間もの市民の議論が、全く無意味となった説明会でした。

このような事態が今後も続くとなれば、市民は常に市のやることに疑問を抱き、自らが調査せざるを得なくなり、市への信頼が失われる事態となります。これはもたぬに市民を無視した市政運営が行われ、市の対応の不手際が明らかになった年があったのでしようか。市の主人公は市民です。市民の幸福追求、福祉増進を図るために全ての施策が展開されなければなりません。市民の側に立ったとは到底思えない事態が次々に明るみに出た1年でした。

本市への視察来庁(10月~12月)

10/6	新潟県三条市(総合体育館ESCO事業について)	10/29	徳島県板野東部消防組合の取り組み状況について
10/3	奈良県奈良市(市民協働を進める介護予防について)	10/28	北海道室蘭市(市立図書館の運営について)
10/23	愛知県豊川市(東日本大震災における液化化被害と今後の対策について)	11/20	愛媛県西条市(液化化被害への対応について)
10/22	長崎県大村市(うらやす市民大学事業について)	11/18	東京都江戸川区(新庁舎建設について)
10/15	大阪府貝塚市(新庁舎建設に向けたこれまでの経緯について)	11/14	鳥取県境港市(不法投棄防止対策について)
10/9	大分県速見郡日出町(学校給食センターの運営について)	11/13	千葉県市川市(産後ケア(液化化対策について))
10/9	新潟県十日町市(新浦安駅前「プラザマーレ」の施設概要について)	11/12	新潟県南魚沼市(市立図書館活用の現状と課題について)
10/9	岐阜県安八郡輪之内町(液化化対策について)	11/12	千葉県市川市(産後ケアについて)

編集後記

本号は、第4回定例会について編集をいたしました。お気づきの点やご意見がございましたら、左記までお知らせください。

浦安市猫実一丁目1番1号
浦安市議会事務局
TEL (355) 1111
内線一八〇四
FAX (355) 1140

うらやす議会だより編集委員会

- ◎委員長 柳 毅一郎
- ◎副委員長 岡野 純子
- ◎宮坂 奈緒
- ◎元木美奈子
- ◎芦田 由江
- ◎岡本 善徳
- ◎水野 実
- ◎中村理香子
- ◎岡野 純子